令和９年度特別支援アドバイザー採用候補者選考基準について

（令和８年度実施）　　千葉県教育委員会

１　千葉県が求める特別支援アドバイザー像

（１）人間性豊かで、使命感に満ちた特別支援アドバイザー

（２）幅広い教養と特別支援教育に関する高い専門性を有し、教職員の悩みや思いを受けとめ、助言・援助ができる特別支援アドバイザー

（３）高い倫理観を持ち、心身共に健康で、明朗、快活な特別支援アドバイザー

２　評価の方法等

・実施する選考

選考内容	配点又は評価の区分	採点基準等
論述課題	５段階 ５０点	別表に示す観点により５段階で評価します。
個別面接	１００点	教育委員会、学校関係者等が、別表に示す観点により評価します。

【別表】

評価項目ごとの観点　【論述課題】

評価項目	観　　点
特別支援教育に関する知識	特別支援教育に関する基礎的・専門的な知識を有しているか。
	法令、制度、教育施策等を踏まえた記述となっているか。
課題分析	課題の意図を正確に把握し、現状や背景を適切に分析しているか。
	根拠や実態に基づいて課題を整理しているか。
提案性	課題解決に向けた具体的な方策を示しているか。
	提案内容が課題分析と整合し、効果が期待できるものとなっているか。
実践性	学校や地域の実情を踏まえた実現可能な提案となっているか。
	教職員に対して効果的な助言・援助につながる内容となっているか。
文書表現	論理的で分かりやすい文章構成となっているか。
	語句の用い方や表現は適切か。

評価項目ごとの観点　【面　接】

評価項目	観　　点
人間性	明るく、活力があり、誠実さがあるか。
	他人の考えを尊重しながら、自分の考えを丁寧に表現することができるか。
	協調性があり、良好な人間関係づくりができるか。
資質情熱	助言・援助を通して、子供たちに生きる力を育もうとする意欲があるか。
	守秘義務等教育公務員と同等のコンプライアンスがあるか。
	職務、職責を理解し、忠実にその任務に当たろうとする意志があるか。
指導力	特別支援教育に関する高い専門性があるか。
	幼児児童生徒の実態を正確に捉え、実態に即した助言・援助ができるか。
	校内の指導体制を理解し、効果的に機能するよう助言・援助ができるか。

３　総合判定

・**論述課題（事前提出）と**面接（個別面接）のそれぞれの結果を総合的に評価し、採用見込数内にある方を、特別支援アドバイザー候補者とします。